

## 地方創生、SDGsの取組み強化

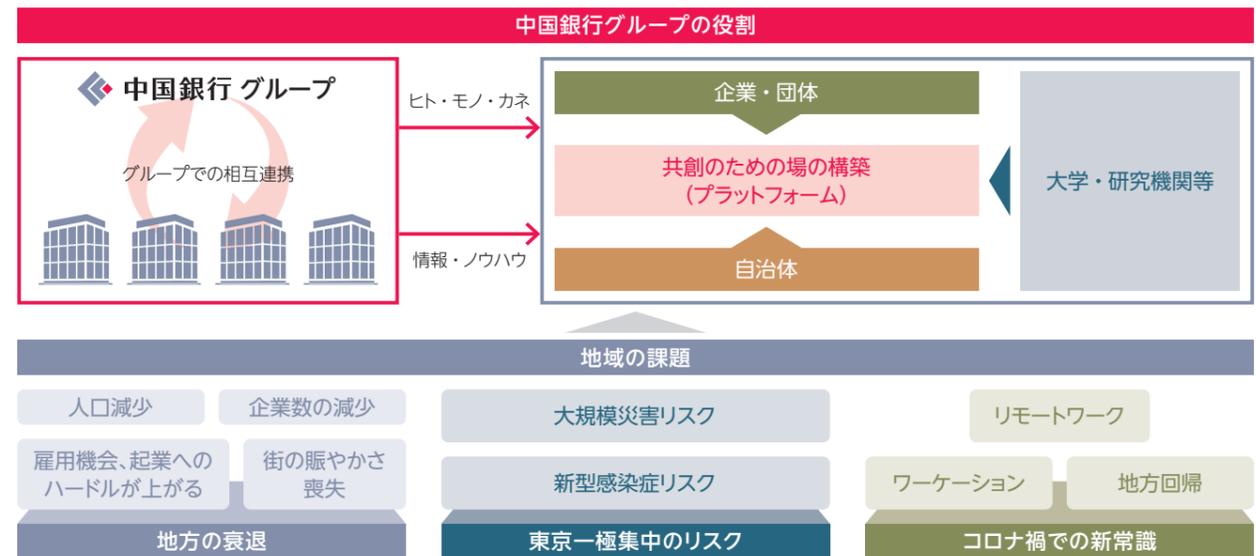
当行グループの営業基盤である東瀬戸内経済圏では、人口や企業数の減少などさまざまな課題が存在しており、これらの課題は当行グループの経営基盤に重大な影響を与えることが予想されます。今後の地域経済の縮小を避けるべく、各地域における「地方創生」が重要視されています。また、世界規模で取組むための共通目標として掲げられた「SDGs」（持続可能な開発目標）における環境課題や社会課題への対応が強く求められています。地域の企業や団体、教育機関、自治体などが一体となり、魅力ある地域づくりを目指してまいります。

### 当行の目指すべき姿

<b>経営理念・戦略との同質性</b>	<b>経営理念</b> 自主健全経営を貫き、ゆるぎない信頼と卓越した総合サービスで、地域社会とともに発展する
	<b>長期ビジョン</b> 「地域・お客さま・従業員と分かち合える豊かな未来を共創する」
<b>目指すべき姿</b>	地域の課題を、自分ごととして捉え、自ら考え行動する



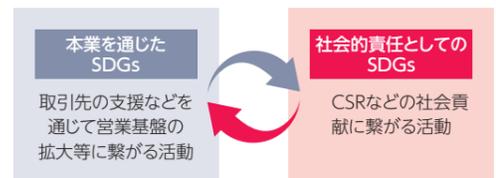
 地域の課題解決に向けて、地域の関係団体や企業と協働し魅力ある地方を創造する



地方創生・SDGsは、地域社会の持続的な発展へ貢献するという点で、まさに当行の経営理念や長期ビジョンと共通しており、地域のリーディングバンクとしての存在意義そのものです。この中期経営計画で2年目となる本年度は、地方創生とSDGsを一体として取組み、それを実践のステージへと進化させてまいります。当行グループが持つさまざまなノウハウやネットワークを活用しながら、役職員一人ひとりの自主的かつ積極的な活動や新たなチャレンジにより、地域の持続的な発展と当行グループの長期的な経営基盤の拡大に繋がる取組みを目指します。

そして、「本業を通じたSDGs」と「社会的責任としてのSDGs」の両方をバランスよく進めていくことで地域経済・社会の発展に繋がる活動をおこなってまいります。

また、行内向けのワークショップ研修会や休日講座等を継続的に開催し、地方創生・SDGsに関する理解や浸透を図っています。



ワークショップ研修会の様子

### 具体的な取組みと施策

具体的な施策として、昨年から行内の方針等の整備や新サービスの取扱いを開始しています。

- 「ソーシャルボンド『コロナ債』」の発行  
2020年10月に地銀初のソーシャルボンドで新型コロナウイルス感染症対策の資金調達を実施し、翌年サステナブルファイナンス大賞の地域金融賞を受賞しました。
- 「ちゅうぎんグリーン購入に関する指針」の制定、「おかやまプラスチック3R宣言事業所」への登録  
2020年12月に環境に配慮した物品等の購入について定めた指針を制定するとともに、岡山県主催の「おかやまプラスチック3R宣言事業所」へ登録し、環境負荷低減に努める企業として取組みを促進しています。
- 「責任ある投融資に向けた取組方針」の制定  
気候変動対策、脱炭素への対応として、2021年4月に環境や社会にネガティブな影響を与える業種やセクターへの投融資をおこなわないという方針を制定しました。
- 「ちゅうぎんサステナブルローン」の取扱い開始  
企業が設定するCO<sub>2</sub>の削減量など環境に良い影響を与える目標について、その達成状況に応じて金利が変動する制度融資を2021年4月より開始しました。
- 「ちゅうぎんSDGs サポート」の取扱い開始  
2021年4月よりお取引企業さまのSDGsへの取組みを支援するサービスを開始し、SDGsへの取組み状況や課題に対してコンサルティングメニューを通じたご提案をおこなっています。
- TCFD\*（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同  
大規模な自然災害をもたらす気候変動が世界的な重要課題となる中、当行は2021年5月に「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」提言に賛同いたしました。

\* TCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosures (気候関連財務情報開示タスクフォース) … 2015年12月、G20の要請を受け金融安定理事会 (FSB) により気候関連の情報開示および金融機関の対応をどのようにおこなうかを検討するために設立された。2017年6月に企業による自主的な開示を促すための提言をまとめた最終報告書を公表し、気候変動リスクおよび機会について提言に沿った情報開示を推奨している。



### 課題解決に向けた地域連携

地域社会とともに持続的な発展をおこなうため、地域の課題解決とSDGsの達成に向けたスピーディな対応や実践を進めるべく、地域の関係者の方々との連携を強化し、さまざまな取組みを進めてまいります。

#### 地元大学との連携 おかやま未来共創アライアンス（岡山大学との包括協定の再締結）

当行は、岡山大学と「地方創生・SDGsによる未来共創に関する協定」を締結いたしました。お互いの情報やノウハウを共有しながらSDGsの達成を目指していくことで、地域の発展に貢献し、未来を共創することを目的に今後いっそう連携を強化してまいります。



#### 地域事業者との連携 地域の未利用資源を活用した除菌ウエットティッシュの開発協力

地域循環型社会の実現を目指し、地域の課題解決やSDGsの取組みに向けて活動する事業者を支援しています。本事業では、規格外でやむなく廃棄される岡山県赤磐地域の特産品である果物を原材料とした「赤磐産ブドウの除菌ウエットティッシュ」の製品化に協力しています。事業の資金調達には、地域密着型クラウドファンディング「晴れ!フレ!岡山」を活用しています。

また、完成した商品はお客さまへの頒布品としての採用を予定しています。



#### 自治体との連携 自治体SDGsパートナー制度へ参画

SDGsの取組みを推進するにあたり、自治体との連携強化を目的に、各市町村が募集する「SDGsパートナー制度」に参画し、パートナー企業として協力をすることを宣言しています。すでに、岡山県真庭市、倉敷市高梁川流域、香川県三豊市、鳥取県鳥取市、などの地域で具体的にSDGsの実践や推進活動をおこなっており、自治体との連携を随時拡大していく予定です。